

2018年度 第2四半期 決算説明会

- 1 2018年度 第2四半期(上半期)決算
- 2 2018年度 業績予想
- 3 中期計画進捗状況
(参考資料)

2018年11月14日
タツタ電線株式会社

**本資料における将来の予測等に関する各記述は、
当社が現時点で入手可能な情報に基づく判断や仮定によるものであり、
リスク及び不確実性が含まれております。
したがって、実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。**

**本資料に関するお問い合わせ先
タツタ電線株式会社
経営企画部**

TEL:06-6721-3011 FAX:06-6726-2300

<http://www.tatsuta.co.jp/>

1 2018年度 第2四半期(上半期)決算

1-1 上半期決算および年度予想(要点)

(上半期決算)

- 対前年同期では増収(+27億円)、減益(営業利益▲5億円)。
- 電線・ケーブル事業は、銅価格高および販売量増により増収。営業利益は銅価変動影響および設備トラブル、台風等災害影響(下期への販売ズレ込みを含む)等の一時的要因があり減益。
- 電子材料事業はフィルム販売量は昨年なみの販売量を確保したが、販売構成の変化により減収。営業利益は、当期新モデル端末向けの製品試作費用の発生を主因に減益。
- 年度計画(上半期分)に対しては、電線・ケーブル事業が(下期への販売ズレ込み分を含め)減収減益、電子材料事業が増収増益のもと、トータルでは若干の未達(売上高▲1億円、営業利益▲1億円)。

(年度予想)

- 銅価高および下期における一段の販売量増により、電線・ケーブル事業は増収、増益。
- フィルム販売は前期の特需要因がなくなり、電子材料事業収支は減収、減益となる中、トータルでは増収、微減益。
- 年度計画との対比では、電線・ケーブル事業における一時的要因等による減益をフィルム事業の増益でオフセットし、計画並みの営業利益を確保見込み(売上高は変化なし)。

*「年度計画」は2018年7月24日公表の業績予想

1-2 2018年度上半期主要条件

項目	2017年度 上期	2018年度 上期	備考
電気銅建値	709千円/t	760千円/t	2017年度上期:期首 690千円/t 上期中最高値 800千円/t 上期末 760千円/t 2018年度上期:期首 760千円/t 上期中最高値 840千円/t 上期末 750千円/t
電線販売量伸び率	+1%	+11%	インフラ向け、対前年同期比
(うち中国) 機器用電線売上	(1億円) 32億円	(2億円) 37億円	電線・ケーブルセグメント内数
フィルム販売量伸び率	+23%	▲1%	対前年同期比 2017年度上期:フィルム特需(一時的要因含み)発生

注1) 電気銅建値は電線・ケーブル製品売上高、原料代に影響

注2) インフラ用途電線販売は国内のみ。フィルム販売は大半円建て。→ 為替変動影響僅少

1-3 (対前年同期)2018年度上半期決算

(単位:百万円)

	2017年度 上期	2018年度 上期	前年同期 差異
売上高	27,271	29,989	+2,718
営業利益	3,133	2,661	▲471
(営業利益率)	(11.5%)	(8.9%)	(▲2.6%)
経常利益	3,145	2,698	▲447
当期純利益	2,461	1,988	▲472
一株当たり純利益(円)	39.84	32.19	▲7.65
一株当たり配当(円)	7.00	8.00	+1.00

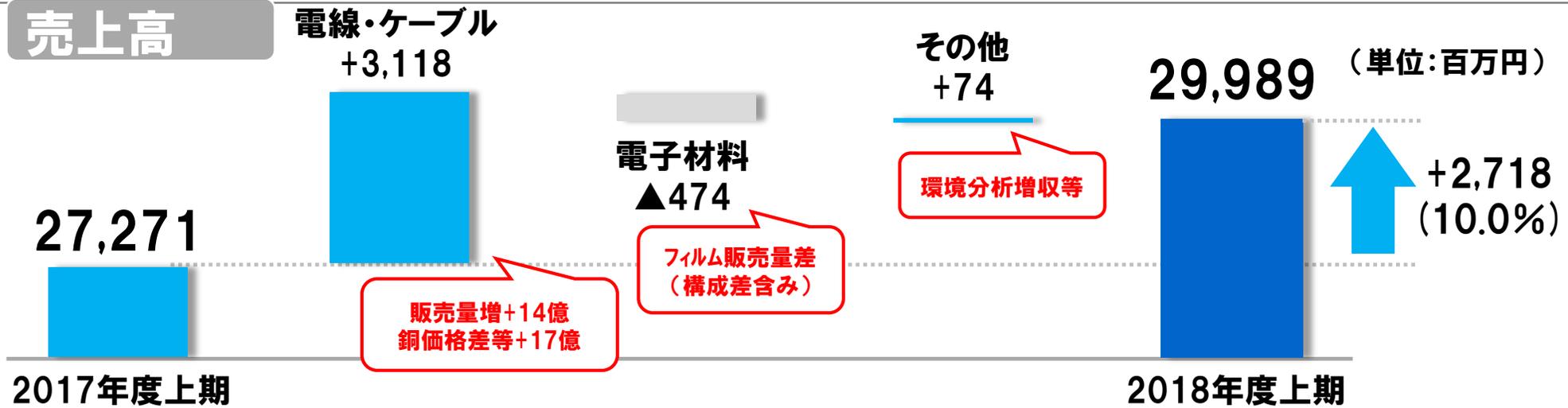
1-4 (対前年同期)セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

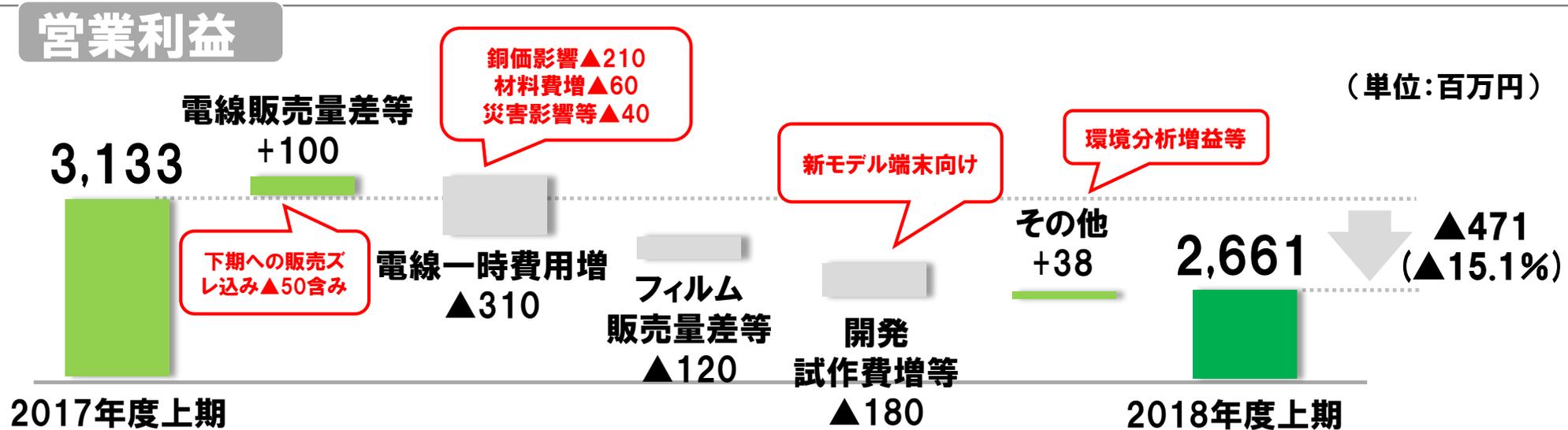
	2017年度 上期	2018年度 上期	前年同期 差異
電線・ケーブル	15,119	18,237	+3,118
電子材料	11,424	10,950	▲474
その他	728	802	+74
売上高	27,271	29,989	+2,718
電線・ケーブル	483	283	▲200
電子材料	3,036	2,732	▲303
その他	▲385	▲352	+31
営業利益	3,133	2,661	▲471

1-5 (対前年同期)上半期売上高、営業利益増減要因

売上高



営業利益



1-6 貸借対照表、キャッシュフロー計算書

【貸借対照表】

(単位:百万円)

	2018年3月末	2018年9月末	増減	備考
流動資産	35,626	36,588	+961	売上債権(期末休日影響含み)増等
固定資産	15,841	16,590	+748	本社工屋の建替え工事関連(+623)等
資産計	51,468	53,178	+1,710	
流動負債	8,337	8,392	+55	
固定負債	1,724	1,722	▲2	
負債計	10,061	10,114	+53	
純資産計	41,406	43,063	+1,657	
(自己資本比率)	(80.5%)	(81.0%)		

【キャッシュフロー計算書】

(単位:百万円)

	2018年度 上期	備考
営業CF	1,871	
税金等調整前四半期純利益	2,675	
その他	▲804	売上債権(期末休日影響含み)増等
投資CF	▲1,687	
設備投資	▲1,725	本社工屋の建替え工事関連(▲623)等
その他	38	
財務CF	▲488	配当支出(▲494)等
CF合計	▲303	
(減価償却)	(788)	

1-7 (対前年同期)2018年度業績予想

(単位:百万円)

	2017年度実績			2018年度予想			年度差異
	上期	下期	年度	上期実績	下期予想	年度予想	
売上高	27,271	27,922	55,194	29,989	30,010	60,000	+4,805
(営業利益率)	(11.5%)	(6.9%)	(9.1%)	(8.9%)	(7.8%)	(8.3%)	(▲0.8%)
営業利益	3,133	1,913	5,047	2,661	2,338	5,000	▲47
(ROA)	-	-	(10.6%)	-	-	(9.5%)	(▲1.1%)
経常利益	3,145	2,073	5,219	2,698	2,301	5,000	▲219
(ROE)	-	-	(9.2%)	-	-	(8.1%)	(▲1.1%)
当期純利益	2,461	1,215	3,677	1,988	1,511	3,500	▲177

1-8 (対前年同期)セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2017年度実績			2018年度予想			年度差異
	上期	下期	年度	上期実績	下期予想	年度予想	
電線・ケーブル	15,119	17,502	32,621	18,237	19,762	38,000	+5,378
電子材料	11,424	9,478	20,902	10,950	9,049	20,000	▲902
その他	728	942	1,671	802	1,197	2,000	+329
売上高	27,271	27,922	55,194	29,989	30,010	60,000	+4,805
電線・ケーブル	483	465	949	283	1,066	1,350	+400
電子材料	3,036	1,772	4,808	2,732	1,617	4,350	▲458
その他	▲385	▲325	▲710	▲352	▲347	▲700	+11
営業利益	3,133	1,913	5,047	2,661	2,338	5,000	▲47

1-9 (対前年同期)年度売上高、営業利益増減要因



2 2018年度 業績予想

2-1 2018年度業績予想主要条件

項目	2017年度 実績			2018年度 年度計画			2018年度 予想			備考
	上期	下期	年度	上期 予想	下期 予想	年度 予想	上期 実績	下期 予想	年度 予想	
電気銅建値 (千円/t)	709	805	757	800	800	800	760	800	780	2017年度銅建値: 期首 690千円/t 期中最高 850千円/t 期末 740千円/t 2018年度銅建値: 期首 760千円/t 上期中最高 840千円/t 上期末 750千円/t
電線販売量 伸び率	+1%	+1%	+1%	+13%	+12%	+13%	+11%	+17%	+14%	インフラ向け 対前年同期比
(うち中国) 機器用電線売上	(1億円) 32億円	(2億円) 36億円	(3億円) 68億円	(2億円) 37億円	(3億円) 40億円	(6億円) 77億円	(2億円) 37億円	(3億円) 40億円	(6億円) 77億円	電線・ケーブルセグメント内数 16年度実績:57億円(2億円)
フィルム販売量 伸び率	+23%	+12%	+18%	▲10%	▲5%	▲8%	▲1%	▲10%	▲5%	対前年同期比

注1) 電気銅建値は電線・ケーブル製品売上高、原料代に影響

注2) インフラ用途電線販売は国内のみ。フィルム販売は大半円建て。→ 為替変動影響僅少

2-2 (対年度計画)2018年度業績予想 *変更なし

(単位:百万円)

	年度計画			予想			年度差異
	上期予想	下期予想	年度予想	上期実績	下期予想	年度予想	
売上高	30,100	29,900	60,000	29,989	30,010	60,000	-
(営業利益率)	(9.1%)	(7.5%)	(8.3%)	(8.9%)	(7.8%)	(8.3%)	-
営業利益	2,750	2,250	5,000	2,661	2,338	5,000	-
(ROA)	-	-	(9.5%)	-	-	(9.5%)	-
経常利益	2,750	2,250	5,000	2,698	2,301	5,000	-
(ROE)	-	-	(8.1%)	-	-	(8.1%)	-
当期純利益	2,000	1,500	3,500	1,988	1,511	3,500	-

2-3 (対年度計画)セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	年度計画			予想			年度差異
	上期予想	下期予想	年度予想	上期実績	下期予想	年度予想	
電線・ケーブル	18,600	19,400	38,000	18,237	19,762	38,000	—
電子材料	10,550	9,450	20,000	10,950	9,049	20,000	—
その他	950	1,050	2,000	802	1,197	2,000	—
売上高	30,100	29,900	60,000	29,989	30,010	60,000	—
電線・ケーブル	700	850	1,550	283	1,066	1,350	▲200
電子材料	2,400	1,700	4,100	2,732	1,617	4,350	+250
その他	▲350	▲300	▲650	▲352	▲347	▲700	▲50
営業利益	2,750	2,250	5,000	2,661	2,338	5,000	—

2-4 (対年度計画)上半期売上高、営業利益増減要因

売上高

30,100



年度計画上期

電線・ケーブル
▲362電子材料
+400フィルム販売量差
(構成差含み)その他
▲147

29,989

(単位:百万円)

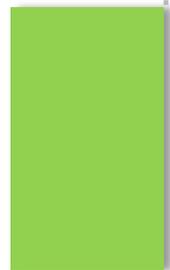
▲110
(▲0.4%)

2018年度上期

銅価格差▲1億
販売量減等▲3億

営業利益

2,750



年度計画上期

電線販売量差等
▲240電線一時費用増
▲180フィルム
販売量差等
+490

新モデル端末向け

開発
試作費増等
▲160その他
+1

2,661

(単位:百万円)

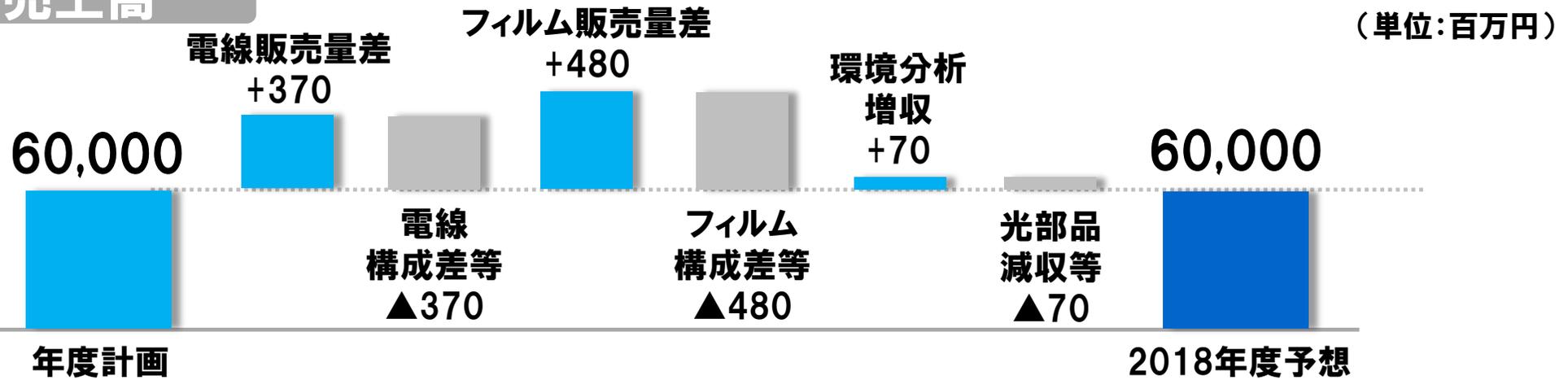
▲88
(▲3.2%)

2018年度上期

銅価影響▲80
材料費増▲60
災害影響等▲40*以下を含む
災害影響(下期スレ込み)▲50
機器用電線減益(生産不調)▲40

2-5 (対年度計画)年度売上高、営業利益増減要因

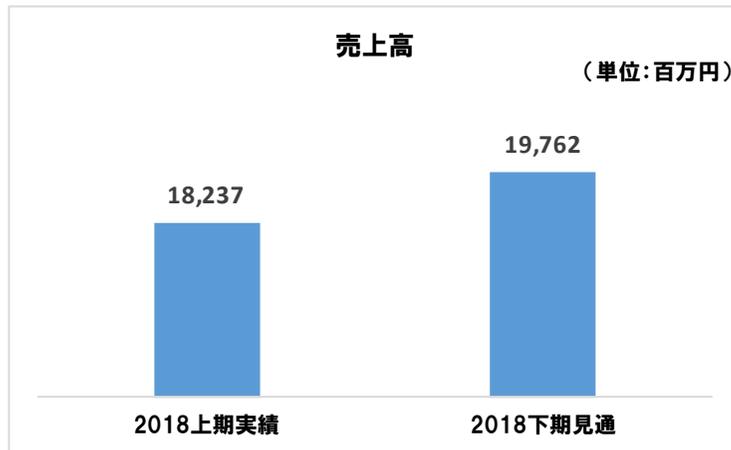
売上高



営業利益

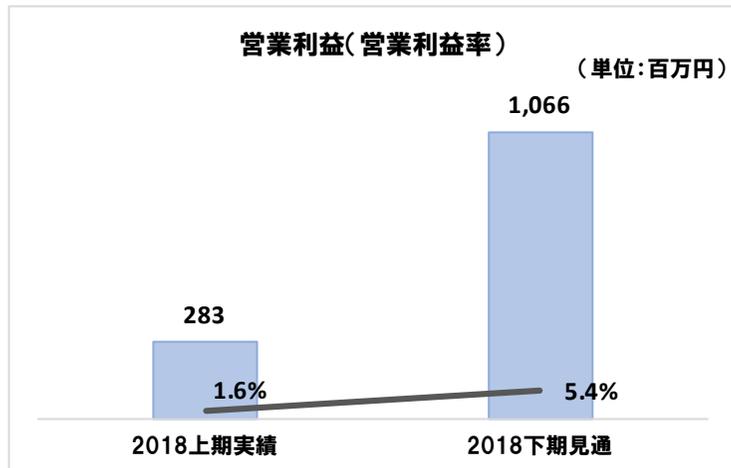


2-6 2018年度下期見通しについて(電線・ケーブル)



(上期業績の特徴)

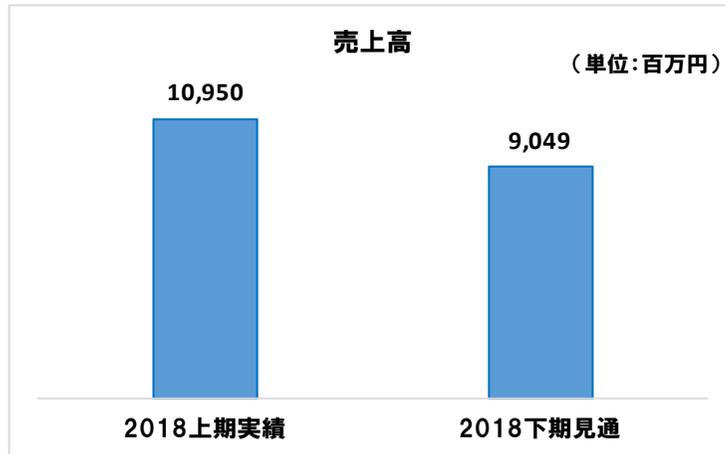
- 不需要期ではあるが、需要は堅調推移。
- 銅価格変動に伴う収益低下、自然災害に伴うコスト増および下期への販売ズレ込み等一時的減益要因が集中発生。



(下期見通し特記事項)*対上期実績改善内容

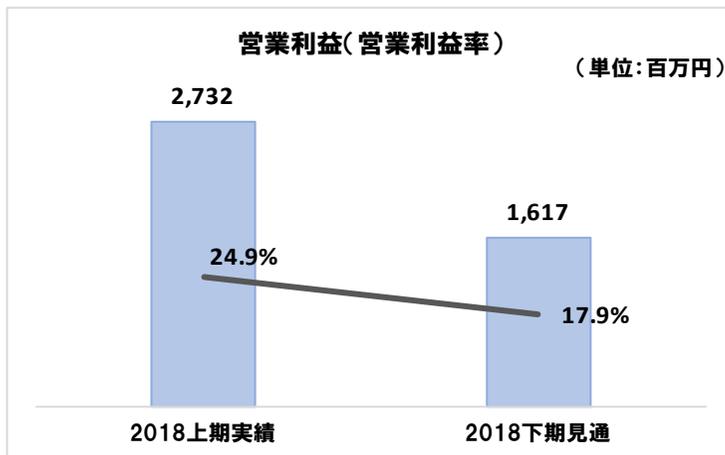
- 一時コスト増加要因の減(+190百万円)
- 販売ズレ込みに伴う販売増影響(+100百万円)
- 需要期入りに伴う販売増(+140百万円)
- その他販売増効果等(+353百万円)
 - 建設電販向け等インフラ電線需要立上り
 - 機器用電線増収等

2-7 2018年度下期見通しについて(電子材料)



(上期業績の特徴)

- 前年特需がなくなった中でも、前期並みの販売量を確保。
- コスト面で本年度新モデル端末向けの製品試作費用が発生。



(下期見通し特記事項)

- 不需要期におけるフィルム販売量減(対上期 ▲25%)に伴い、上期に対して減益。

2-8 フリーキャッシュフロー、設備投資

(単位:百万円)

	2018上期 実績	2018年度 予想	2018年度 中期計画
営業キャッシュフロー	1,871	5,257	5,300
設備投資(支出)	▲1,725	* ▲4,962	▲5,900
フリーキャッシュフロー	146	295	▲600
(参考:減価償却)	(788)	(1,739)	(2,400)

* 全社留保枠支出(17億円)を含む

→ 留保枠:長期ビジョンにおける第2次中計期間以降の確実な目標達成(または上乗せ達成)に向け、財務状況を考慮しつつ、いつでも上乗せ投資可能として認識、設定している金額枠。

(2018年度の主な投資項目)留保枠以外

- 通信電線事業基盤強化投資等 : 3億円
- 機器用電線事業成長投資等 : 3億円
- 機能性材料事業(フィルム等)
 周辺事業開発および市場対応投資等 : 5億円
- 大阪地区耐震対応(本社ビル改築を含む)等 : 16億円

3 中期計画進捗状況

3-1 2025長期ビジョンの概要

【定性的目標】 電線・電子材料関連のフロンティアを開拓し、ニッチトップのサプライヤーとなり、独創的な先端部品・素材を供給する。

【定量的目標】 高い収益率を維持しつつ、現状の1桁上の規模（売上高1,000億円、営業利益100億円）を併せ持つ。

【事業戦略】

成長追求	ペースト、医療機器関連部材
中長期育成	機器用電線（国外）
利益追求	通信電線、機器用電線（国内） 機能性フィルム、FW、シスフォト、環境分析

【2025に向けたロードマップ】

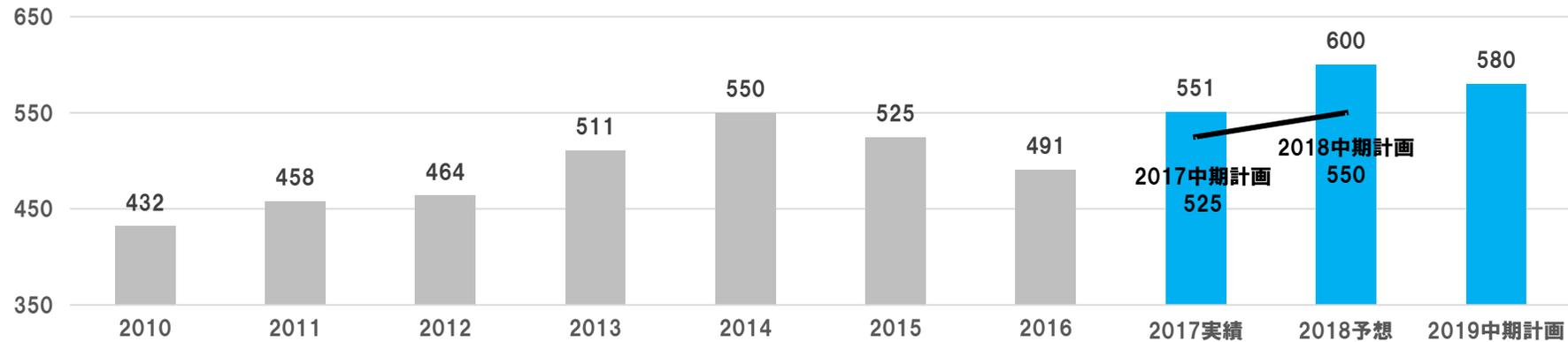
期 間	第1次中計期間 (17-19)	第2次中計期間 (20-22)	第3次中計期間 (23-25)
課題	基盤整備期間	新製品量産化期間	新製品増産収益貢献期間
投融资枠	* 3年間 210億円 (3年間累計 210億円)	3年間 240億円 (6年間累計 450億円)	3年間 280億円 (9年間累計 730億円)
目標 営業利益	19年度 50億円	22年度 70億円	25年度 100億円

(* 留保枠3ヵ年合計120億円を含む)

3-2 2017-19年度中期計画進捗状況

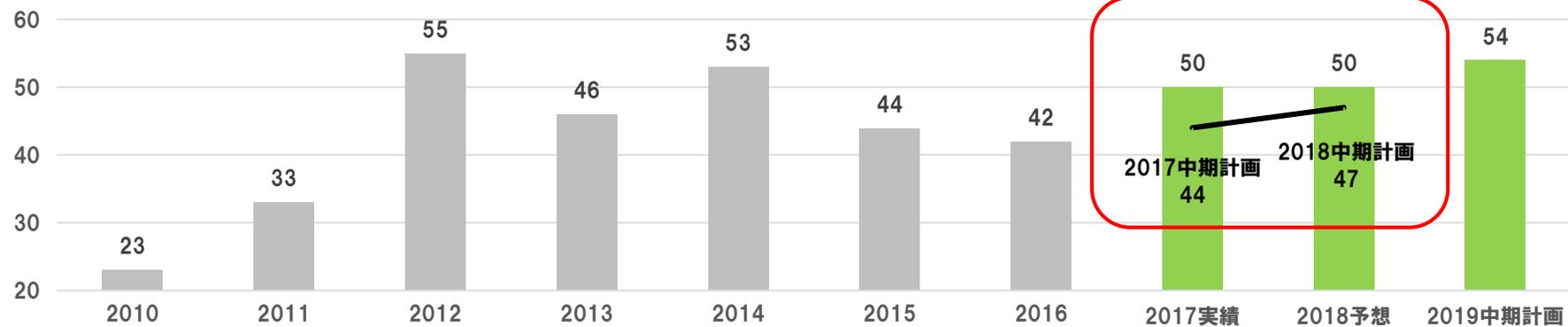
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



3-3 2017-19年度中期計画進捗状況

(単位:百万円)

	2017 中期計画	2017 実績	2018 中期計画	2018 予想	2019 中期計画
売上高	52,500	55,194	55,000	60,000	58,000
(営業利益率)	(8.4%)	(9.1%)	(8.5%)	(8.3%)	(9.3%)
営業利益	4,400	5,047	4,700	5,000	5,400
(ROA)	(8.9%)	(10.6%)	(9.0%)	(9.5%)	(9.6%)
経常利益	4,300	5,219	4,600	5,000	5,200
(ROE)	(7.7%)	(9.2%)	(7.9%)	(8.1%)	(8.3%)
当期純利益	3,000	3,677	3,200	3,500	3,600

3-4 2017-19年度中期計画進捗状況(セグメント別)

(単位:百万円)

		2017中期計画	2017実績	2018中期計画	2018予想	2019中期計画
	電線・ケーブル	32,000	32,621	33,500	38,000	35,000
	電子材料	18,600	20,902	19,300	20,000	20,300
	その他	1,900	1,671	2,200	2,000	2,700
売上高		52,500	55,194	55,000	60,000	58,000
	電線・ケーブル	1,200	949	1,500	1,350	1,800
	電子材料	3,700	4,808	3,700	4,350	3,800
	その他	▲500	▲710	▲500	▲700	▲200
営業利益		4,400	5,047	4,700	5,000	5,400
当期利益		3,000	3,677	3,200	3,500	3,600

3-5 2017-19年度中期計画進捗状況

- ① 以下の事業課題に関する諸取組みは概ね計画どおり進展。
- ② 収支面(2018年度見通し)では、電線・ケーブル事業での一時的収益減少はあるが、トータルではフィルム事業のベース需要伸長に伴う利益底上げにより、2017年度に続き計画を上回る営業利益を確保見通し。
- ③ 新規事業開発の取組みは顧客事情による若干の遅れはあるが、着実に進展。

*中計主要課題一覧

電線・ケーブル

【利益追求】

- ① 通信電線事業(インフラ用途)の効率化継続および一層の販売構成改善
- ② 機器用電線事業(国内、子会社含み)の一層の収益基盤強化、シナジー効果の追求

【中長期育成】

- ① 海外機器用電線事業の基盤確立および本格販売立上げ

電子材料

【成長追求】

- ① ペースト製品新規用途のデファクトスタンダード化、周辺用途への採用拡大

【利益追求】

- ① フィルム事業のシェア維持と収益性確保
- ② ファインワイヤ事業のグローバル化と国内市場での拡販

その他

【成長追求】

- ① 医療機器部品・材料事業の製品ラインナップ拡大および販売立上げ

【利益追求】

- ① 機器システム製品、光部品、環境分析事業の収益維持・拡大

(参考資料)

(参考) 業績推移

【売上高・営業利益推移】

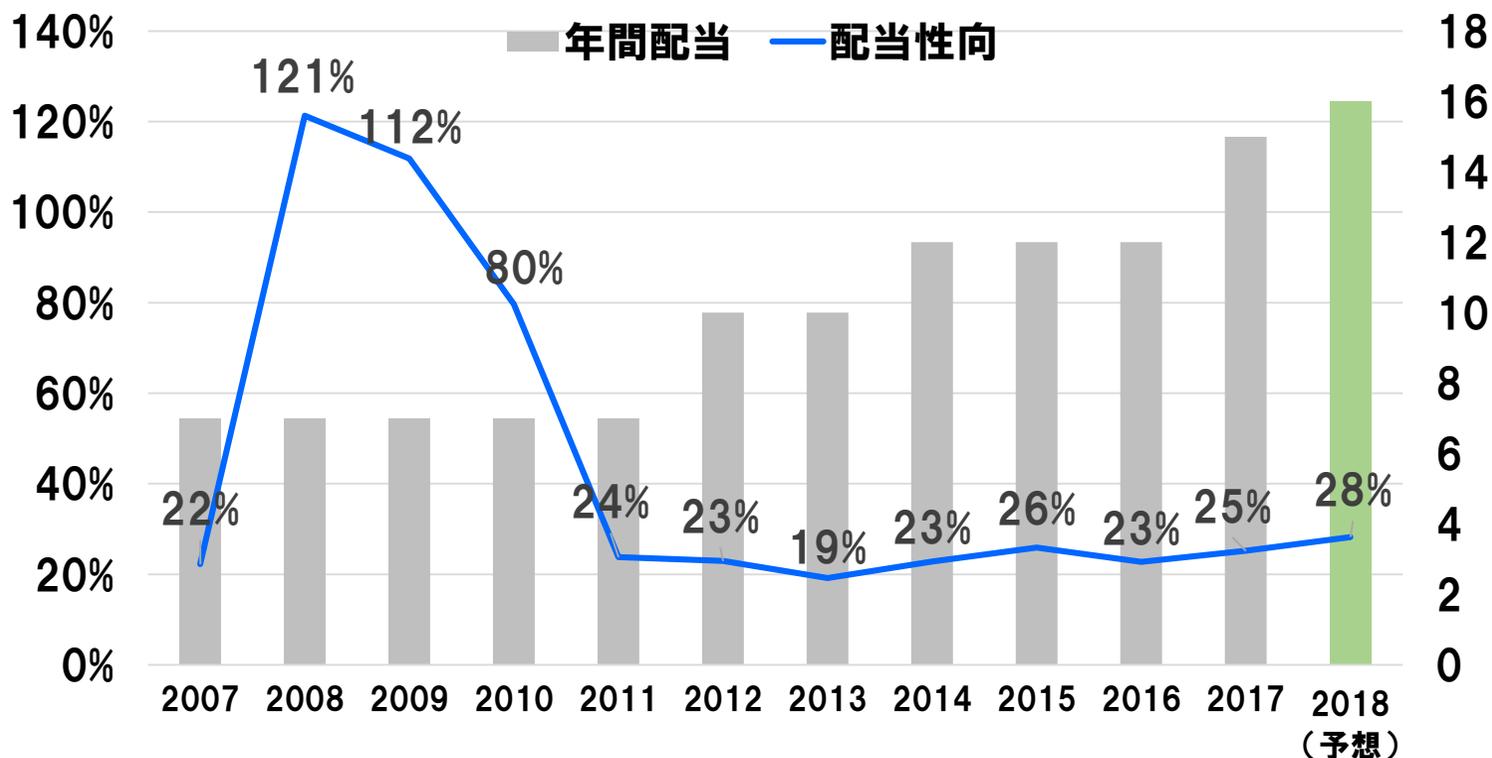
(億円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 (予想)
売上高	363	489	508	444	354	432	458	464	511	550	525	491	551	600
営業利益	15	28	23	3	8	23	33	55	46	53	44	42	50	50

【財務指標等推移】

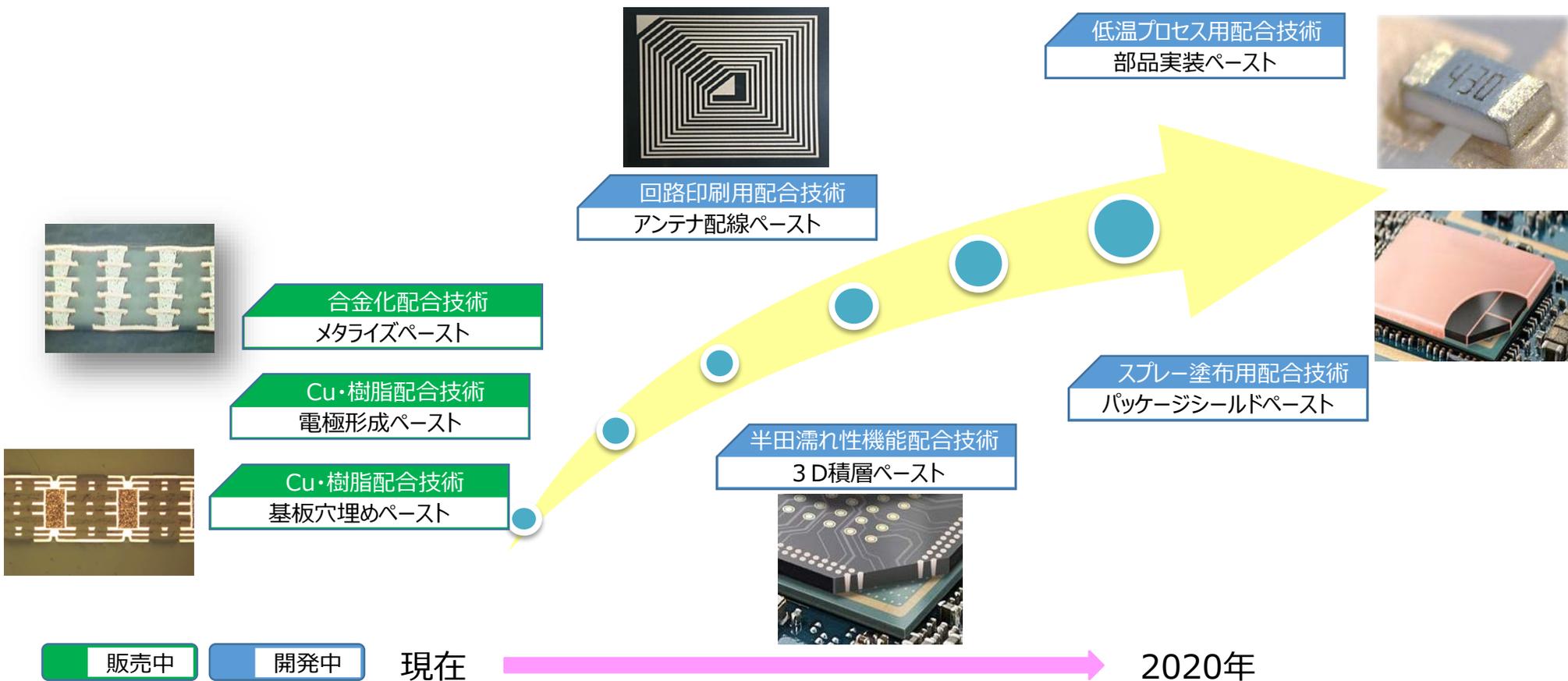
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 (予想)
総資産 (億円)	386	421	446	446	471	514	540
自己資本 (億円)	295	315	347	360	381	414	445
売上高 (億円)	464	511	550	525	491	551	600
経常利益 (億円)	58	48	54	45	43	52	50
当期利益 (億円)	27	33	33	29	33	36	35
ROE (%)	9.8	10.9	10.1	8.3	9.0	9.2	8.1
ROA (%)	16.1	12.0	12.6	10.2	9.5	10.6	9.5
経常/売上 (%)	12.6	9.5	9.9	8.7	8.9	9.5	8.3

(参考) 配当推移

配当性向30%を目安としつつ、安定的な配当を継続することを基本とし、各年度の剰余金の配当等の決定は、業績の動向、設備投資の見通し等を総合的に勘案したうえで決定することを基本方針とする。



(参考) 導電性金属ペースト ロードマップ



＊新製品は海外の主要な展示会でも紹介を行い、世界各国の大手顧客での評価がスタート

(参考) 医療機器部品・材料 ロードマップ

